



ピース・ウイング長崎

情報 BOX

2021.9.1

No. 253

公益財団法人 長崎平和推進協会

〒852-8117 長崎市平野町 7-8

TEL : 095-844-9922

<https://www.peace-wing-n.or.jp>

協会
LINE ↓



協会
Instagram ↓



●○○● 活動中止期間を延長します○○●

8月27日から長崎市がまん延防止等重点措置区域となり、原爆資料館、追悼平和祈念館など長崎市内の公共施設の臨時休館期間が延長されることになりました。

それに伴い、次のとおり、活動中止期間を延長します。

なお、まん延防止等重点措置の解除時期と、活動再開時期は異なる可能性がありますので、ご注意ください。再開時期が決まりましたら、協会ウェブサイトやLINEでお知らせいたします。

ご不明な点等ございましたら、当協会（TEL：095-844-9922）へお問い合わせください。

■9月12日（日）まで臨時休館

長崎原爆資料館

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館

■9月12日（日）まで活動中止

継承部会員による被爆体験講話

平和案内人による予約ガイド（資料館・碑めぐり）

■活動中止（再開時期未定）

平和案内人による資料館・祈念館常駐ガイド

家族・交流証言者による定期講話、派遣講話

朗読ボランティア「永遠の会」による常駐朗読、派遣朗読

平和の灯を開催します

台風9号接近のため中止となった「平和の灯」を、会場を変更して開催します。

今回は「爆心地公園」での実施となります。いつもと違った雰囲気での灯を、是非、見に来てください。

日時：9月25日（土）18:45～20:00

場所：爆心地公園

※雨天時は中止します。

【お問い合わせ先】原爆資料館 被爆継承課

TEL：095-844-3913



昨年度の「平和の灯」の様子

“被爆者が生きた長崎を残したい”

被爆前の長崎の写真を募集しています

長崎大学核兵器研究センター（RECNA）と追悼平和祈念館は、「被爆の実相の伝承」のオンライン化・デジタル化を進めるにあたり、被爆前の長崎の様子をとらえた写真を探しています。

「あの日」の前、長崎の人々はどんな日常生活を過ごしていたのか。写真と証言を組み合わせることで、よりリアリティのある伝承事業に取り組みます。

詳しくは、RECNA までお問い合わせください。

【募集内容】

- 被爆前の長崎の様子が分かる写真を募集します。
- 撮影した正確な場所や時期が分からなくても構いません。
- 写真は事務局（RECNA）でデジタルデータ化します。現物は提供者へお返しします。

【お問い合わせ先】

長崎大学核兵器廃絶研究センター（RECNA） TEL：080-8040-3656（担当：林田）



（提供いただいた写真の一例）

協会 YouTube 随時、動画を更新中です！



協会 YouTube は、随時、動画を追加しています。

8月末にかけて、青少年ピースボランティアらが合唱する「千羽鶴」の動画の他、ウォークマップの経路案内、被爆者健康講話の様子などを紹介しました。

「千羽鶴」合唱動画は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集合して歌の練習をすることができず、個人で練習に励み、それぞれを撮影した動画を編

集して完成しました。また歌詞は継承部会員の池田道明さん、三瀬清一朗さん、山脇佳朗さんにそれぞれ書いていただくなど、皆の力を合わせた動画となりました。

このほか、協会販売する「長崎原爆遺跡・慰霊碑ウォークマップ」の碑までの道のりを案内する動画や、令和2年度の被爆者健康講話の様子（全4回）などもご覧いただけますので、是非チャンネル登録をお願いいたします。



YouTube 二次元コード

海外原爆展を開催します

長崎市の市民友好都市・ヴュルツブルク市にある、シーボルト協会より強い関心と賛同が寄せられたことから、同協会の協力を得て、下記のとおり、海外原爆展を開催します。

期間：10月1日（金）～11月28日（日）

場所：シーボルト博物館（ドイツ バイエルン州 ヴュルツブルク市）

内容：原爆写真パネルや被爆体験記などの展示、被爆者証言映像上映ほか